会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（8月定例会）
開催日時	令和6年8月23日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	田無第二庁舎3階会議室
出席者	委員：伊尻委員、樫出委員、川原議長、河野委員、坂内委員、澤井委員 高橋委員、谷関委員、長谷川委員、松本委員、米村委員 事務局：大内社会教育課長、吉野社会教育係長、野田主事
議題	(1) 提言作成の進め方について (2) 提言の目次の検討について
配付資料	
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●議題について</p> <p>議題（1） 提言作成の進め方について</p> <p>○事務局：スケジュールについて下記の通り説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月、9月、進捗によっては10月までに目次案を固めていただく。 ・目次案が固まったのち執筆分担を行い、12月までに目次案の章ごと、節ごとに提言に入れたい内容について各委員からご意見いただく。 ・1月以降は各委員からの意見を参考に執筆に入ってください。 ・西東京市の社会教育分野における取組状況を9月定例会時に資料として配布予定 <p>○議長：スケジュールについて意見等あるか。</p> <p style="text-align: center;">一同意見なし</p> <p>○議長：執筆方法についてですが、前回提言と同様、全員で執筆をし、校長2名については監修という形で全体的な内容確認をお願いできればと考えているがいかがか。</p> <p style="text-align: center;">一同同意</p> <p>議題（2） 提言の目次の検討について</p> <p>○議長：事務局より目次の検討にあたり、過去5回分の提言の目次一覧が参考資料として配布された。参考資料を見ながら、キーワードを出し、キーワードをグループ化することで目次としての体裁を整えていきたいと考える。提言の目次に関してご意見願いたい。</p> <p>○委員：「はじめに」でどうしてもこの提言を出すのかの理由、新たな時代における社会教育の具体</p>	

的な説明、西東京市の社会教育の現状と課題については触れていきたい。続いて多様な人々がつながるネットワークとは何か、ネットワークづくりには何が必要なのかを明らかにしていきたい。また、伝える手立てである広報に関する事、そして行政はどのように連携していくのかについても触れていきたい。最後には「まとめ」があるといい。

○議長：公民館の話を入れていきたい。公民館がない自治体もあるなかで、公民館があるという点について言及していきたい。

○委員：「多様な人々」がキーワードであると考え。どのような人々が困難に直面しているのかを現状として具体的に知りたい。「新たな時代」もキーワードであると考え。コロナが明けて人々のつながり方が変わった。時代の変化をとらえることも大切である。また、公民館の役割や、学びの種をまき社会教育士の役割についても入れていきたい。

○委員：まちなか先生は地域の人材をいかしている。人材を発掘し、活用して学校と地域をつなげている点について触れていきたい。

○委員：「多様な人々がつながるネットワーク」を考えたときに社会教育の横の連携ができると、ゆくゆくは地域の活性化にもつながると考える。

「新たな時代」ではITの進歩など様々な技術が進歩していく中で、どのように社会教育がなされるのか、より社会教育が必要になっていくのではないかなど、今後の社会教育の方向性も見据えていきたい。過去の提言に携わった際、「多様な」では高齢者を表している場面が多かったように感じるが、今は本当に様々な方がいる。様々な方に対しての社会教育としての学びの場が広がればいいと考える。

○委員：外国にルーツを持つ子供たちの言葉の問題など、学校内で対応していく課題だと感じていたが、言葉の問題なども地域で支援するなど社会教育からフォローできたらいい。

また、これまでの提言が、どのように反映されているのかは検証していく必要があるのではないかな。

社会教育のアウトリーチの話があったが、中高生が集まる場所に出向き、性教育に関する事業を実施したことがある。特に性教育は自ら申し込んで参加する人は少ないが、事業の対象者が多く集まっている場所に出向いて「少し聞いていてね」というように、学習の提供者が、学習対象者の多くいるところに出向いて実施するような活動も広がればいいと思う。

また、キーワードとして「市民による市民のための社会教育」が大切であると考え。公民館で実施されていなくても市民の団体が困難を抱えている方を支援するような活動が市内でも行われている。そのような市民主体の活動についても内容に入れていきたい。また、「場所がない」という課題があるが、仮に場所があったとしても今の若い世代が活動を広げていくのかについては調査が必要であると考え。

- 委員：市民が多様な活動をされていることは、とても大切なことなので提言にも入れていきたいと考える。また、若い世代がどこに向かっていくのかについても注視していきたい。
- 議長：過去の提言の検証については事務局作成資料に入れていただきたい。
前回の提言では社会教育を提供する側の話が出てきていたが、今回は社会教育で学ぶ側の視点の意見が出てきているので、学ぶ側として「多様な人々」を柱にできそうだ。
- 委員：人と場は重要なワードだと思う。多様な人々では対象となる人がどのような人かを具体的に出して、それぞれに「こういう場所がある。」と提言できれば良いと考える。アウトリーチの話があったが、情報化が進み「待ち」の状態だと情報が多すぎて逆に入ってこない。必要な情報を受け取りやすいように情報を整理することも大切だと思うので、情報の話もどこかで触れられるとよい。
- 委員：「つながる」が大きなキーワードであると考え。どうつながるのか、どのような場で、公民館だけではなく、誰が誰とつながっているのかを考えていきたい。また社会教育士に関して西東京市ではどのような方向性を示していくのかを考えたい。
- 議長：社会教育士についてはどこかで触れていきたい。
- 委員：子供を真ん中に置いたときに、どのように人をつなげていけるのかを整理していけるといい。市内では学童など、場における問題があるように感じる。ひばりが丘中学校の跡地の活用など、場についての情報を整理しながら提言にまとめられるとよいのではないかな。
- 委員：「新たな時代」を考えたときに、これまではどうだったのか、これからはどうなるのかを具体的に整理できると良いと考える。社会教育の中で不登校の児童生徒の場づくりができると良い。市内で行われている社会教育の活動が、必要な方へ届いていないように感じる。広報紙のほか、この市に住んで楽しいなと思えるような市民へのアプローチができるといい。
- 委員：改めて「場」の話は大事であると感じる一方で、物理的に限られている課題もある。その中で新たな時代を考えたときに、ICTを活用した場づくりについても提言に入れられたらよいのではないかな。
- 議長：意見いただいた内容を整理して章立てを検討していきたい。

章立ての整理

- 議長：次回定例会では引き続き目次案の検討をしていきたい。

次回会議

日時 令和6年9月20日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎 5階会議室